

日南市水道事業経営戦略【概要版】

1 策定の目的

- 本市の水道事業を取り巻く環境は、水道施設の老朽化などの課題に加え、将来的な給水人口の減少に伴う給水需要の減少並びに水道料金収入の減少が予測され、非常に厳しい状況です。
- 将来にわたって安定的に事業を継続していくために、中・長期的な基本計画である「経営戦略」を策定します。
- 計画期間は、令和2年度から令和11年度までとします。

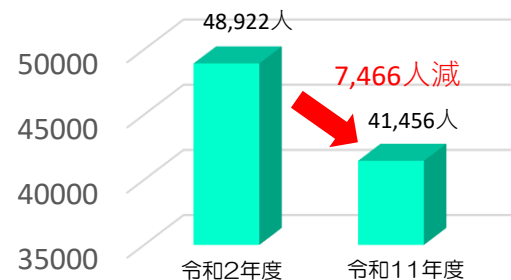
2 水道事業の現状

- 平成29年度に大島を除く簡易水道事業を水道事業に経営統合しました。
- 水道施設の一元化事業を最優先して実施し、加えて老朽管の更新事業や耐震化事業を実施しています。また、今後も継続して建設改良事業に投資する必要があります。
- 人口減少に伴う給水収益の減少が見込まれ、経営状況はさらに厳しくなる見込みです。

3 将来の事業環境

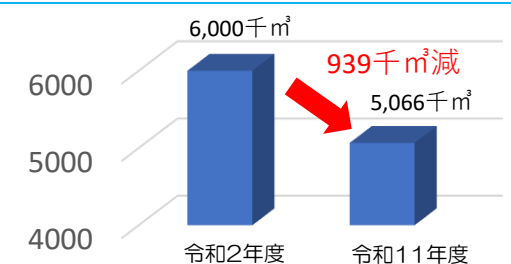
（１）給水人口

- 給水人口は、国立社会保障・人口問題研究所が公表した人口推計を基礎として予測しています。
- 給水人口は、令和2年度48,922人の見込みですが、令和11年度には41,456人に減少する見込みです。



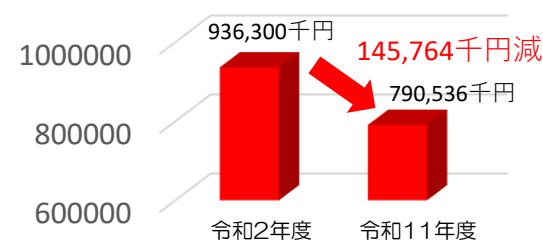
（２）水需要（有収水量）

- 人口減少に伴い、水需要も減少する見込みです。
- 有収水量は、令和2年度は6,000千 m^3 の見込みですが、令和11年度には5,066千 m^3 に減少する見込みです。



（３）料金収入

- 水道料金収入は、現行の料金体系を維持した場合、令和2年度は936,300千円の見込みですが、令和11年度には790,536千円に減少する見込みです。



（４）水道施設の見通し

- ①重点事業（日南・南郷地区の水道施設一元化事業等）
 - ②構造物、設備及び基幹管路の更新事業
 - ③老朽化した配水支管の更新事業
 - ④重要管路及び配水支管の耐震化事業
- 重点事業を最優先し、耐震化事業及び更新事業などを平準化。毎年概ね7億円。

4 経営の基本方針

- （１）経営理念
いつまでも、おいしい水を提供します。
- （２）基本方針
 - ①「持続」 効率的な水道施設を整備
 - ②「安全」 安全でおいしい水の安定供給を確保
水安全計画に基づき、安全管理を確保
 - ③「強靱」 耐震化計画に基づき、基幹施設の耐震化を実施
危機管理マニュアルに基づき、危機管理体制を強化
事業継続計画（BCP）に基づき、緊急時の対応を強化

5 投資・財政計画

- 本市の水道事業を取り巻く環境を適切に反映し、水道施設の一元化や、設備・管路の更新・耐震化などの事業を推進し、合理的かつ効率的な水道事業の経営を目指します。
- 安定的な給水を継続していくために、必要な投資計画を推進しながら、健全な経営を維持します。
- 厳しい経営状況が見込まれるため、令和3年10月に約26.2%増の水道料金改定を見込みます。
- 令和4年度から隔月検針を導入し、コスト縮減を図ります。

6 今後の検討予定等

- 水道施設・設備の改修計画を策定し、長寿命化の検討を行います。
- 委託業務全般を見直し、費用対効果に見合った業務委託を実施します。

7 経営戦略の事後検証など

- 常に経営状況の改善が図られるよう、毎年の決算状況を見ながら、概ね3～5年で投資・財政計画を見直します。